

## 主体的な遊びや活動を創るための継続的な番組活用

北海道旭川市 宝田学園わかば幼稚園 教諭 土井 沙織

### 幼稚園 5歳児年長組 しぜんとあそぼ

#### 番組の特徴

様々な生き物をテーマに、身近な姿から普段なかなか目にすることのできない部分まで美しい映像でじっくり詳しく見ることができる番組。視聴を通して自然への関心をもつことができ、様々な気付きや自然とかかわる活動への意欲を高めることができる。

#### 研究の概要

番組を視聴し感じたことをもとに活動する保育を継続して積み重ねることで、主体的に活動する力や学校教育につながる学びの芽を育むことをねらいに保育を進めた。2学期までに14回視聴を重ね、番組からの気付きの深まりや子ども同士の意見交流をもとにした活動の展開などに子ども一人一人が主体的に活動し、自然に対しての学びを深めている様子が見られた。

#### 活動デザイン

##### 番組視聴

##### しぜんとあそぼ

##### 意見交流

自分の感じたこと、疑問に思ったこと、新たに知ったことなどを話す。友だちの話を聞き、共感を示す、違いに気付くなどする。

##### 事後活動

番組を見て感じたことをもとにそれぞれ自分で考えた活動をする。調べる、観察、造形活動、絵や文によるまとめなど

##### まとめ

活動の成果や新たに分かったことなどをクラスで発表しあう。

次回の番組視聴やほかの活動へつなげる。

#### 年間計画（学期のねらい）

##### 1学期

- 友だちの話を聞き、身の回りの自然への関心高め、積極的にかかわる。
- 番組に対して様々な意見があることを知る。

##### 2学期

- 番組を見て感じたことをもとに自分でやりたいことを決め活動する。
- 友だちの意見に対して思ったことを話することができる。

##### 3学期

- 友だち同士で番組に対しての意見を話し合い、お互いの考えを認め合う。
- 友だちと相談しながら一緒に活動を考え取り組む。

#### 番組や関連動画クリップの活用意図

##### 自然への関心高め感性を刺激する番組視聴

番組視聴でテーマについての関心が高まり、感性が刺激され感動・不思議さ・疑問などさまざまな思いをもつことができる。それぞれが感じたことをクラスでの話し合いや事後活動に活かせるように活用する。

#### 活動デザインにかかわる教師の工夫

##### 共有体験を活かしたコミュニケーション

意見交流ではお互いの話を聞きクラスでのコミュニケーションの場となるように車座に座り、顔を見合わせながら話し合いの時間をもつ。まとめの時間も、お互いの活動を知り認め合う場になるようにし、満足感や次への意欲につながるようにする。

##### 作品の掲示やファイルで活動を残す

事後活動で作ったものを保育室に掲示、絵や文にまとめたものはファイルにまとめクラスに残すことで、クラスみんなで活動を共有することができ、一人一人の満足感や社会的評価（友だちや教師からの評価）につなげるようにする。

##### 次回の視聴やほかの活動に活かす

視聴体験の積み重ねや、普段の保育活動とのつながりを意識し、番組視聴で育った力を次の視聴やほかの活動で発揮できるようにする。

#### 生き生きと学ぶ子どもの姿

##### 子どもの反応や感想

- 今日とはどんなテーマなのかと毎回視聴を楽しみにしている。
- 初めて知ったこと、疑問に思ったことの感想がよく出ている。

##### 同僚の評価（継続視聴をしてきた子どもの変化）

- 細かいところまで集中して視聴するようになり、感想も具体的に話すようになった。
- 1学期は事後活動を自分で決められない子もいたが、2学期半ばには自分で考えるようになり、2学期末には友だちと相談して一緒に事後活動に取り組む姿も見られるようになった。
- 番組視聴の日だけではなく、普段の外遊びや園外活動などでも身の回りの自然に対して観察したり、分からないことを調べたり、調べたことを友だちや教師に伝えたりするようになった。

#### 実践を終えて＜行動宣言＞

視聴を継続してきて、子どもたちの自然に対してのかかわり方に変化が見られている。番組のもつ力で感性が刺激され、クラスでの意見交流でも様々な感想が出るようになってきている。また毎回の視聴で得られた満足感や達成感が積み重なり、主体的に活動する力となっている。今後の視聴では子ども同士で意見を交えるような意見交流の持ち方に気を付け、さらに自分で考えた活動をやり遂げる経験を全員ができるように援助し実践を続けていきたい。